



股関節脱臼 ポメラニアン / 7 歳 避妊メス

主訴

9/1 急に左後肢を挙上しているとのことで当院受診。身体検査およびレントゲン検査にて、
●両側の股関節低形成
●左股関節脱臼を認めた。Grade IV と左後肢のパテラ Grade II を認めた。

検査

全身麻酔下にて、非観血的整復を行い包帯で経過観察したが数日後に再脱臼を認めた。

治療
手術

9/17 左大腿骨骨頭切除術実施。
1.2 週間程度包帯を巻いて経過観察。包帯をとった後も特に異常なく経過良好。

主訴

11/25 自宅にて足を滑らせてから右後肢の挙上を認め、当院を受診。身体検査およびレントゲン検査にて、右後肢の股関節を認めた。

治療
手術

再脱臼の可能性が高いため、左側同様「大腿骨骨頭切除」を実施。

1.2 週間程度包帯を巻いて経過観察。包帯をとった後も特に異常なく経過良好。

術後

両側の OPE 後も経過良好で、現在も元気に過ごしております。



股関節脱臼は、

●急に足をつかなくなる ●強い痛みを示す ●歩行を嫌がる

といった症状が出ることが多い病気ですが、時間が経つほど整復が難しくなり、手術が必要になる可能性が高くなります。

そのため、突然の跛行や強い痛みが見られた場合は、できるだけ早く動物病院を受診すること

がとても重要です。早期に適切な処置を行うことで、疼痛からの解放や関節炎の予防にも繋がります。

「急に後ろ足をすごく痛がっている！」と感じた段階でご相談いただくことで、より良い治療選択ができる可能性が高くなります。

気になる症状がありましたら、お早めにご相談ください。